

30年余で10,000棟の施工実績をもつ、京都のハウスメーカー“エルハウジング”

滋賀銀行と「『しがぎん』サステナブル評価融資」 1億円の契約を締結いたしました

株式会社エルハウジング(本社:京都市右京区 代表取締役:村井 孝彦)は、2022年2月28日、滋賀銀行(本店:滋賀県大津市 頭取:高橋 祥二郎)と、「『しがぎん』サステナブル評価融資」1億円の契約を締結いたしました。以前より取り組んでおりますCSR活動や子ども支援、住み続けられる家づくり等の実績と、今後の取り組み方針が認められ、契約締結の運びとなりました。

『しがぎん』サステナブル評価融資とは？

利用企業のサステナビリティ経営に関する有意義な目標設定を行い、モニタリングを通じた伴走支援により、企業価値の向上を後押しする滋賀銀行の融資商品です。今回の融資にあたっては、(株)しがぎん文化経済センター(しがぎんグループ会社)からのセカンドオピニオンにより、弊社の取り組み状況や有意義性が確認され、契約締結に至りました。



▲記念盾贈呈の様子

(左: 弊社代表取締役 村井 孝彦)

契約締結へのポイント

①社会と共に持続可能な成長につながる目標設定

エルハウジングでは「環境に配慮した住み続けられる家づくり」を重要な経営テーマとして掲げています。販売する建売戸建住宅については「『住宅トップランナー制度』が定める省エネ基準値をクリアする住宅の割合」において、適合率100%の継続を目標としています。

②サステナブル経営の継続推進

エルハウジングはかねてより持続可能な社会への実現に向けて、住まいを通じたまちづくり・社会課題の解決に取り組んでいます。SDGs宣言企業として、下記のような取り組みを行っています。

1. 住み続けられるまちづくり
2. 健康的な生活の確保
3. 地域社会への貢献



▲取り組み詳細はコチラ
(弊社HPへ)

【エルハウジング担当者コメント】総務部 亀岡 伸行

当社では2020年4月にSDGs宣言を行い、「人々の暮らしに喜びの輪を広げる」という経営理念のもと、SDGsに掲げられている持続可能な社会の実現に向けて、住まいを通じたまちづくり、社会課題の解決、社会貢献に取り組んでいます。今回の『しがぎん』サステナブル評価融資の契約により、外部機関による評価やモニタリングを通じた支援を頂きながら弊社に出来る社会貢献やSDGsにおける課題解決への取り組みを更に追求し、実現に向け進化させていきたいと思っております。

お問合せ先

株式会社エルハウジング 広報担当: 佐々木

TEL 075-882-5900(代) 携帯: 090-4496-5673 / E-mail: sasaki@sagano-g.jp